

井草会

会報

1998
No.31

発行者：井草会会報委員会 東京都立井草高等学校内（練馬区上石神井2-2-43）
発行：平成10年8月20日 郵便為替：00120-4-0084359
TEL&FAX：0120-066-193 井草会事務局
ホームページアドレス：http://home2.highway.or.jp/iharuo/

井草祭に母校を訪ねてみよう

「母校の環境も変わったよ」

9月19日(土)・20日(日)

来る平成10年9月19日(土)、20日(日)の両日、母校の井草祭が開催されます。

今年も、同窓会の部屋を用意し、皆様のお出でをお待ちしております。

例年どおり点茶の準備もしております。

秋空の下で、懐かしい方との再会もあるかも知れません。

特に今回は、20日(日)午後1時30分より、昨年、『ロバート・フック ニュートンに消された男』の著作で大佛次郎賞を受賞した中島秀人氏が来校されます。中島秀人氏は井草高校27回生で、現在東京工業大学社会理工学研究科助教授・科学技術史研究者として活躍されています。どんな話が、同窓会のコーナーで飛び出すか、今から楽しみです。お問い合わせのうえ、是非お遊びにいらしてください。

中島秀人氏を囲んで

日時：9月20日(日) PM1:30~3:00

場所：同窓会の部屋（北校舎二階 自習室）

テーマ：テクノロジーが拓く21世紀像

ごあいさつ

井草会会長 遠矢 良隆
(高校6回A組)



昨年の同窓会は、画期的なできごとがありました。井草会(同窓会)パーティーに、はじめて母校の生徒が参加したことです。

三十名近い吹奏楽部の生徒による演奏の一曲一曲は、参加した人たちの心に深く印象に残るものがありました。若々しく、ひたむきな生徒たちの演奏に、かつて味わった高校時代を懐かしく思い起こすに十

分なものでした。

又同時に「同窓会」の後押しで行われた、四学年次の、それぞれの同期会、クラス会は、同級生たちの、ほとぼる熱い思いが、其処、ここに展開され、活気に満ち溢れた会としての盛り上がりを感じさせました。

この二つの事柄は、「同窓会」の運営と幹事だけの同窓会活動から、多くの卒業生たちが参加できる、関心をもたれる「同窓会」に変わるきっかけになると思います。

会費納入にたよる活動から会員に依る講演会、同期会、クラス会支援等、会費の還元や、関心の薄い人たちに、言葉を交わす場をつくる工夫を、又学校とのかかわりを考えながら、これからの井草会(同窓会)の活動は、一つのテーマを定着させながら充実をはかっていく事が、大切だと、私は考えます。

新しく生まれ変わりつつある「同窓会」の活動にみなさんのご協力をお願い致します。



井草会同窓会を開いて

事業委員長 森井 出

昨年(1997年8月24日)東中野「日本閣」において井草会同窓会を開催しました。

何年前かに50周年記念同窓会を「マツヤサロン」で開催して以来、久々の同窓会でしたが、在校生の吹奏楽部の演奏もあり先生方を含めておよそ350名ほどの参加があり、盛況のうちに終えることができました。

「クラス会や同期会なら出席しても良いけれど、同窓会に行っても知らない人ばかりだから…」こんな声が多く、正直のところ何人集まってくれるか心配しておりました。

井草会に限らず、同窓会と言えば、第1回の卒業生から今年卒業したばかりの人までが対象となるわけで、年代により関心事が異なるのはやむを得ません。また、一人で参加しても、話し相手となる知った人がいるかどうか、ついつい出かけるのがおっくうになってしまいます。

これらのことを考えあわせ、「どこかの年代にターゲットをしぼり同窓会を開催してみたら」と言うことでスタートしてみました。

もちろん、同窓会ですから、井草高校に在籍していた人なら誰でも自由に参加していただいて良いのは当然ですが、とりあえず還暦をむかえた年代と一回り下の卒業30年目世代をターゲットにしクラス会・同期会を開くきっかけになればと考えました。今後、継続して同窓会を開催していくことを前提とすれば、誰もがいずれは順番が回ってくるようになります。

こんな経緯で、最初は8回・9回および19回・20回の卒業生を中心に呼びかけを始めたところ、該当



活躍を期待される吹奏楽部

学年の幹事さんが、当初の予想をはるかに超える熱心さで(失礼)横の連絡を取り合ってください、18回生も自発的に盛り上がり多数の参加を得ることができました。

とりあえずのスタートで、反省点も多々あります。「料理が少なすぎて、ちょっとおしゃべりしている間になにも食べるものが無くなった」「同窓会は、みな対等であるはずなのに会費に差があるのは納得がいかない」等々。

一方、同窓会終了後たくさんの感謝のお言葉もいただきました。試行錯誤をくりかえしながらではありますが、しばらくの間は2年に一度のペースで同窓会を継続させていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回精力的にご協力いただいた学年幹事の方々に深く御礼申し上げます。

1999年は10回・11回・21回・22回卒業生を中心に8月1日に日本閣で開催を予定しています。



(敬称略) 毛利 籾 大沢 藤波 小島 林 刀祢 森田 神田 天野 児玉
中西 齊藤 金 田中 鎌田 平井 青山 辻 青山 今野 大隅 松原

●井草会活動報告● 役員会・委員会

- 平成
9年5月18日 幹事総会：活動報告。決算報告。新年度活動方針。予算審議。同窓会総会準備。
- 5月20日 事業委員会：同窓会総会準備。
- 6月25日 会報30号発行
- 7月26日 第2回合同委員会：日本閣にて会場を見ながら総会細案作り。
- 8月6日 臨時委員会：総会最終打合せ。
- 8月24日 同窓会総会開催。
- 8月31日 臨時委員会：井草祭参加準備。同窓会総会反省。記念写真発送。
- 9月20,21日 井草祭参加：点茶と同窓会のスナップ写真展示。
- 12月7日 第3回合同委員会：井草祭反省。学校への協力態勢について。名簿変更のコンピューター管理について。
- 10年2月1日 第4回合同委員会：来年度予定。役員・理事改選について。同窓会室使用の件。
- 2月14日 役員会：OG・OB援助金の一部改正案。会費納入者のリストアップ。予算・決算案作り。新入会員への案内作成。
- 4月11日 第1回合同委員会：幹事総会準備。会報編集。役員・理事改選案。
- 6月14日 幹事総会：活動報告。決算報告。役員・理事改選。活動方針。予算審議。

平成9年度決算報告・平成10年度予算 (単位：円)

	9年度予算	9年度決算	10年度予算
収入			
繰越金	2,895,131	2,895,131	1,768,304
入会金	1,271,370	1,271,370	1,260,000
会費及び寄付収入	4,000,000	3,722,232	3,700,000
雑収入	10,000	9,655	10,000
計	8,176,501	7,898,388	6,738,304
支出			
会報委員会費	2,550,000	2,212,639	2,500,000
会報通信費	1,350,000	1,324,080	1,400,000
会報発送代行費	300,000	145,670	200,000
会報印刷費	800,000	678,050	800,000
委員会活動費	100,000	64,839	100,000
名簿・会費委員会費	250,000	142,739	250,000
通信費	100,000	45,000	100,000
委員会活動費	150,000	97,739	150,000
事業委員会費	1,700,000	1,140,358	900,000
井草祭参加費	200,000	114,868	300,000
同窓会開催費	1,000,000	483,504	
OB・OG会費補助金	300,000	486,829	500,000
委員会活動費	200,000	55,157	100,000
広報委員会費			
広報委員会活動費	200,000	24,592	150,000
事務担当費			
事務担当活動費	100,000	65,900	300,000
理事会・委員会			
幹事活動費	600,000	543,856	600,000
会議費	200,000	231,551	200,000
交通費	200,000	143,400	200,000
通信費	200,000	168,905	200,000
事務所開設準備金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
予備費	776,501	0	38,304
次年度繰り越し	-	1,768,304	
計	8,176,501	7,898,388	6,738,304

平成10年4月1日現在財産目録

名簿積立金	2,000,000(平成6～10年度分)
事務所開設準備金	7,000,000(平成6～9年度分)

●平成10・11年度井草会役員●

会長	遠矢 良隆 6A	平山 勲 8A	△谷口知栄子 11F
常任理事局		熊谷 和子 15F	月岡 健一 17G
(事務)	◎○陸野 豊子 1	△原田 美幸 24D	宇田川秀子 19G
(会計)	○村上 俊雄 25E	○岡安 敏子 4F	△島田 俊明 20A
広報	◎名方 幸彦 22I	△井上 晴夫 24D	大山 俊哉 35I
	☆岡安 敏子	☆大西 久江	山崎 拓也 50A
名簿・会費	◎○新井 雅晴 13D	谷 恭子 2A	三浦 信雄 50B
	△渡辺 旭 2B	金沢美保子 3B	武田 眞弓 50B
	鈴木 安江 3E	杉浦 忍生 6B	藤貫由佳子 50C
	平岩允里子 6C	木村 忠正 9D	萩元菜穂子 50D
	△津江 慎弥 10E	鈴木 善雄 20F	竹原 美帆 50E
会報	◎○大西 久江 5E	△中西利一郎 8D	武田 浩二 50F
	旗 利彦 15E	☆新井 雅晴	山崎みゆき 50F
	☆名方 幸彦		伊東 敦 50G
事業	◎○森井 出 17E	畑中千代子 3D	荻野 雅美 50H
	福嶋 盈子 3D	渡辺きさ子 7D	○西田 実 17B
	△谷 明 7D	川西 基裕 7E	○久米 浩一 26D

◎副会長 ○長 △補佐 ☆兼任

8.24 同窓会
二次会・クラス会



高校19回G組



高校7回A、B、C組



高校7回D、E組



高校8回

井草会援助金制度のご利用について

井草会では、クラス会・同期会・OB会などの会合に対して、一定の基準のもとで援助金を支給する制度を設けています。ご利用方法は次のとおりです。

1 ハガキに「援助金希望」と明記して事業委員長宛に申し込む。

(事業委員長より「援助金申請書」が送られてきます)

2 会合終了後、

1) 「援助金申請書」(必要事項明記のこと)

2) 参加者名簿(住所・電話等連絡先明記のこと)

3) 参加者全員の写った写真

4) 400字以内のコメント文

5) 登録幹事(参加者の中から1名以上選任のこと)

以上の書類をまとめて事業委員長宛に送付する。

3 書類審査確認後、会計より指定口座に援助金を振り込む。

尚、援助金額は参加者1名あたり1,000円で50,000円が限度です。(クラス会の場合は30,000円が限度)

詳しくは、援助金申請書と共に送られた援助金規則をご参照ください。

開催後に申請されても援助の対象にはなりません。

井草会事業委員長

森井 出

〒202-0003

東京都保谷市北町2-16-3

井草会の運営は、皆様の会費でまかなわれています。会費の納入にご協力ください。

高校18回各組



A組



B組



C組



D組



E組



F組



G組



H組



I組



J組



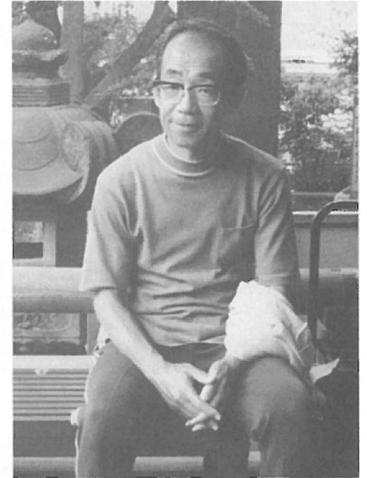
K組

先生

お元気ですか？

ぼくの高齢化社会論

西野 清太郎



敬老の日はゆううつになる。七十才を過ぎてから、毎年この日には市からのお祝いの品と、小学生の「おじいさんおばあさんへ」という手紙をもらう。この悪趣味な慣例、なんとかやめてもらえないかなあ。

そこで腹いせではないが、少し過激な高齢化社会論を書く。

「老人は、死んで下さい国のため」というものすごい新聞の投句があって、話題になった。たしかに、老人がこう多くなつては困る。この句は、公然とした社会のホンネだろう。かりに平均寿命が九十才にでもなつて(ありえないことではない)、幼壮老のバランスが大きく崩れたら、これは大災厄である。

六十才ぐらいまで働いて退職し、あとは平穏安楽に好きな趣味にでも打ちこんで老後の生活をすごす、というイメージは維持できそうもない。

昔の社会では、老人はいちおう尊重されていた。幕府のトップは老中といわれたし、村には長老がいた。これは、昔は幼い子や若い人がどんどん死んで、老人は希少だったし、また社会の変化が遅々としていたから、老人の経験がけっこう役に立ったからである。

いまはちがう。老人はあり余っているし、経験はあまり参考にならない。

幸せで平穏な老後、という人間の理想が実現しそうな矢先、たいへんな矛盾が出てきた。こういうへんな事態は人類史上はじめてのことで、たぶんいままでの常識を一変させなければならなくなるだろう。

女、子どもとか老人と子どもとかいわれるように、老人は保護しなければならない社会的な弱者、と見られている。

しかしいまの老人、じつは大部分がニセ老人である。年令こそ六十才、七十才になつても、まだ体力、知力とも十分で、りっぱに仕事ができる人が多い。この人たちは、社会的につくり出されたニセ老人で、定年とか何かで、「きみはおわりだよ。」といわれ、心ならずもその気にさせられ、それからだんだんほんとうの老人になって行くのである。

体力も知力も気力も衰えたほんとうの老人も、じつは人工的にひきのばされた老人である。これは老人医療の問題に関連する。

昔は人がどんどん若死にしたから、生命をのばすことが無条件でいいことであつて、医療の目的もまた生命をのばすことであつた。しかし人間は生きものだから、自然寿命というものがある。生命力

のある間は、自然の治癒力があつて、病気も治る。若い人の局部的な病気や、激しい苦痛に対しては医療は貴重だが、全体的に生命力の衰えた老人に対しては、高度な老人医療は無用どころか、かえつて有害である。これは人工寿命のひきのばし老人をつくる。元気いっぱい生きて七十才より、十年も寝たきりの九十才の生涯の方がよかつたとは、本人も思わないだろう。ほんとうの老人の期間は、短いほどよい。ほんとうの老人に必要なのは、医療ではなくいたわり、医師ではなく看護婦さんである。

元気なニセ老人ども、老人ぶつてはいけない。ばりばりの生活者、むしろ人生の本番、黄金期だ。若い人にくらべて恵まれている。たぶん子どもたちも一人前になり、家のローンもおわり、年金は遠慮なくもらえばいいし、多少の財産もある。若いときのように、生活のためにやりたくもない仕事をする必要もない。ほんとうにやりたい、好きなことができる。これから、ライフワークにとりかかればいい。趣味やボランティアもいいが、ただ生活の空虚さをうめるためだけのものなら、もったいない。

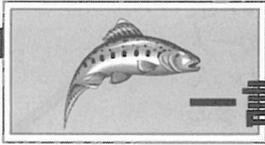
豪奢に華やかに、人生の収穫期をすごしたい。途中、突然人生の幕をひくことになつたとしても、それはそれですばらしいことだ。

先生往来

訃報

転入	(前任校)	(数学)	松澤 亮	退職・石神井(囀)
(数学) 浜詰 均	日比谷	(数学)	加藤 晴紀	西
(美術) 石井恵理子	豊多摩	(数学)	島田 礼子	工芸
(事務長) 福伸太郎	武蔵丘	(理科)	小松 裕明	富士
転出	(異動先)	(美術)	戸塚 智子	清瀬 東
(国語) 荒井 整	北野	(英語)	米山 和子	新宿山吹
(国語) 堀家まり子	武蔵野北	(事務長)	矢口 正孝	退職・東大和南(囀)

若林 覚先生(理科)
平成10年5月24日
浜田慎亮先生(数学)
平成10年5月26日
御冥福をお祈り申し上げます。



一言通信

会費振込み用紙の「一言通信欄」及びホームページより抜粋しました。

☆山路(小林)玲子

(昭和25年卒、高校2回A組)

22年間の水の世界から陸に上ったカッパになりました。お皿の水が乾かないようにと、市のボランティアをいくつか引き受け、習い事も始め、太極拳の会を作りと手を広げすぎ、仕事をしていた時より忙しく、今頃になって携帯電話が必要になってしまいました。

☆矢島(細川)良子

(昭和27年卒、高校4回A組)

今回井草会報がとても見やすくなり、また、我々古き良き時代の先生方、特に水野先生(骨皮・コッピ)の近影、なつかしく拝見でき有り難うございました。

また、木内先生の葬儀に参列致しました。先生のお好きだったクラシックでお別れて、想い出を新たにしております。合掌。

☆渡辺 幸子

(昭和28年卒、高校5回C組)

在学中、手作りの教科書で『枕草子』を教えていただいた水野先生には、卒業以来お逢い出来なくて居りましたが、会報30号でお元気なお姿に接し嬉しく存じました。文芸部で奥多摩へ遊んだこと、また、先生のお宅へガリ版のお手伝いに参上したことなど、なつかしく思い出しました。先生いつまでもお元気でいて下さいますよう。

☆鈴木(服部)とし子

(昭和28年卒、高校5回E組)

毎回井草会報の『一言通信』を楽しみに読んでいます。趣味の書道の20回目の書展に自詠のいろはかるたを作って出展しました。孫達のおもちゃになればと思っております。水野先生の影響もあったと思います。お元気そうなコッピ(失礼)のお写真を拝見して懐かしくなりました。

☆岡田(杉本)和子

(昭和29年卒、高校6回B組)

学力追い付かずビリ答案ばかりだったあの頃の私を髣髴とさせるに充分なる水野先生。小沢先生、古屋先生、至福の贈、感恩の極に存じます。

☆小島 真樹

(昭和36年卒、高校13回A組)

真田幸男校長先生が元気いっばいのことを知り、とてもとてもうれしいです。

☆沓内 実

(昭和42年卒、高校19回C組)

東京を離れて22年間、人工衛星の如く西日本を転々と回っています。今は“坊ちゃん”や“道後温泉”で

有名な松山に単身赴任で頑張っています。

☆宍戸 文男

(昭和42年卒、高校19回H組)

ホームページの作成、ご苦労様です。井草会報が届いて、ホームページの記事がありましたので、さっそく開いてみました。まだ、入れ物ができたという感じかな。たくさんの情報が飛び交うといいですね。また、メールします。

☆村田直樹

(昭和43年卒、高校20回G組)

前回、通信にひと言書いたら、井草会報に載り、喜んでいましたら、何と旧友2名がそれぞれ電話と訪問をしてくれました。会報に心から感謝致すと共に友情万歳ですネ。

☆篠崎(田中)真理

(昭和45年卒、高校22回G組)

年々充実する井草会報、楽しく読ませていただいています。水野先生がお元気でいらしたのには、なつかしくとても感激でした。1年の時の担任の先生で、よく国語の時間でしたが、東京に雪のふる早春の季節になると、授業そっちのけで、“香港ボウズ”の話をして下さいました。気象にお詳しい先生で、今でも昨日のこのように思い出されます。

☆山口(原田)千鶴子

(昭和50年卒、高校27回F組)

在校中、お世話になった先生方も、定年を迎えられたり、悠々自適の生活を送られたり。

自分たちも同時に年齢を重ねていることを実感します。

☆平井(木村)純子

(昭和51年卒、高校28回B組)

自宅にてSnow Drop(スノウドロップ)というテーブル&フードコーディネート教室を主催しております。

☆阿部(井上)恵

(昭和54年卒、高校31回G組)

同窓会には出張中のため出席出来ず残念でした。私自身は、教員の仕事と3児の母の役目とで日々忙しく過ごしています。

☆陳 恵一

(昭和56年卒、高校33回E組)

在San Francisco

井草高校、懐かしいですね。私も高校を卒業して、もう16年。でも、いまだに、あの頃の楽しかった事を時々思い出します。僕らにとって、とっても自由な学校でした。井草祭も結構真剣だったし、多分、3年生が一番一生懸命やっていたんじゃないかな。

それこそ、体育祭の応援団に入ったら、毎日「声だし」の訓練。声がかれてでないの、授業中先生にさされても、答えなくて良かった。結構、先生の理解もあったな。

良く遊び、青春を謳歌した高校であった。うん。

そんな、井草の校風によってか、どうにかなるか、みたいな、ある意味で少し余裕のある生き方ができているのかなと思います。

日本で大学を卒業して、アメリカに来ることを決断できたのも、そのおかげかと思っています。

☆今泉 克巳

(昭和57年卒、高校34回I組)

HP拝見しました。多分、役員の方のHPスペースを使用して開設しているのでしょうか。ご苦労さまです。安価という意味では、インターネットはこれ以上ない媒体だと思います。今後、このHPが多くの同窓生に見てもらえるようになれば良いですね。

P.S プロバイダーのサーバーのせいでしょうが、とにかく“重い”ですね。乗り換えを検討してみても、いかがでしょうか？

☆辰巳(池端)幸子

(昭和58年卒、高校35回I組)

早や高校生以上の年齢になり、2人の子の親になりましたが、今も部活の仲間とギターを弾いています。OBインタビューに登場した田中裕二さんは同級生。ご多忙なのはよくわかりますが、やはり、アンケートでなく直接うかがった声をお聞きしたかったです。

☆佐伯 康夫

(昭和60年卒、高校37回C組)

現在コンピュータ会社に勤めておりここ何年かのインターネットブームのおかげで非常に忙しい毎日を送っています。趣味では高校でやっていたTrumpetをViolaに持ち替えてオーケストラや室内楽をやっています。

☆望田 涼子

(昭和60年卒、高校37回C組)

地元に戻ってきました。子供に私と同じ小、中学校、そして井草高校に行ってほしいなあ、と思っています。

☆山田 健彦

(平成6年卒、高校46回E組)

この前、僕の運転する車で井草高校の前を通りました。



練馬で会いましょう

小川 英知香 (昭和57年卒 高校34回D組)

大学を卒業して、フランス政府給費留学生として渡仏したときは、将来、フランスで仕事をするようになるうとは夢にも思っていませんでした。

学生ヴィザの切れる直前に、ストラスブル管弦楽団の入団試験に受かり、早6年が経ちます。このオーケストラは、海外公演も含めて、年間80回くらいのコンサートがあり、そのうち、半分弱はオペラの公演です。ライン歌劇場のオーケストラでもあるからです。ちなみに日本人は、113人の団員の中、私一人です。

昨年12月に、入団以来初めて、ソリストとしてオーケストラと共演しました。サン・サーンスの小品、ハバネラとロンド・カプリチオーソの2曲を、3夜連続で弾きました。各首席奏者は、その権利(オーケストラ

との共演)があるので、～私も一応、首席の一人なので～順番がまわってきたというのもありましたけど。

そして、オーケストラの仕事以外にも、オーケストラの仲間と弦楽六重奏のアンサンブルを、さらに、フランス在住の日本人たちと「アンサンブル・かい」というグループを結成し、活動しています。弦楽六重奏のアンサンブルは、この秋に、まず地元アルザスでのツアーのあと、日本で演奏会を行う予定です。今年「日本におけるフランス年」なので、その一環として、岐阜のサラマンカホール(10月28日)でと、東京は、練馬文化センター(10月29日)で行う予定です。東京での演奏会は、ストラスブル市と練馬区の友好都市関係で、練馬区の方が動いて下さっています。「アンサンブル・かい」のほうは、去年のMUSIC A(ストラスブルの現代音楽祭)での武満徹作品の演奏会後、ラジオ放送されたものを聴いてくれたプロデューサーから、レコーディングの話が持ち上がり、来月7月初レコーディングに行きます。近い将来、日本でもリリースされると思います。



28年ぶりの母校の教壇へ

石井 恵理子 (昭和45年卒 高校22回I組)

懐かしい森、懐かしいグラウンド。28年ぶりに井草高校に戻ってきました。

新しい勤務先が井草、と知らされた時、運命の鐘が頭の中で鳴りひびき...というのはちょっとオーバーですが、本当に驚きました。

前任高(都立豊多摩高校)から自転車で、西荻窪を通り、上井草総合運動場のあたりを走っていると、みるみる記憶のヴェールが剥れ、当時の女子学生だった私にタイムスリップしていくのがわかります。着任して一ヶ月程は、教師と学生との間を行きつ戻りつしているような毎日でした。

私は昭和45年3月卒業の22回生です。学校群制度第一回生として入学、学園紛争バリケードの学年として卒業しました。一、二年生の頃の学校生活は穏やかで楽しく、

美術部員として青山兵吉先生の御指導のもと、毎日暗くなるまで(グラウンドのむこうに街燈がつくまで)友人と石膏デッサンをしていました。三年後半は紛争のため学校中大荒れで、ホームルームの討論でうまく話が出来ず、廊下の窓から外へ顔を出し、大泣きた事も忘れられません。当時の井草新聞で同級生の顔を見つけました。「まるで浜に戻った浦島のような...」というのがこのごろの口癖です。

今、感じていることは、井草の生徒はやさしい、雰囲気があたたかい、ということ。昔私が感じていた気持ちが今もまだ残っていることです。何だか嬉しくてたまりません。たった三年間の高校生活ですが、その重みと輝きを一人でも多くの井草生に感じていつてもらえたら、と願っています。どうぞよろしく。(美術科)



◆ 平成9年度進路状況 (推薦入学・既卒者を含む合格者数) ◆

◎国公立大学	駿河台	14	東京国際	7	神奈川他13校	各2
埼玉	河	13	早稲田	7	国立音楽他24校	各1
東京学芸	武蔵	13	学習院	6		計421名
会津他8校	成蹊	11	工学院	6	◎短期大学	
計	京理	11	立教	6	武蔵野女子他	37校
◎私立大学	東立	11	実践女子	5		計93名
東洋	東京経	9	国学院	5	◎各種専修学校	
日本	東京電	9	城西	5	日本工学院八王子他	
法政	東明	9	東海	5		32校
明治	中青	8	東京工	5		計45名
大東文	山学院	7	帝京他8校	各4		
専修	垂細	7	淑徳他9校	各3		

セブ島だより

鈴木 啓一 (昭和58年卒 高校35回F組)

1987年早稲田大学卒業後、カリフォルニア州立大学ロングビーチの大学院へ進学し、1990年に卒業。現在の勤務先は(株)力王で地下足袋の製造、販売を行っており私はこのフィリピン工場(セブ島)に駐在しています。当地工場の従業員は約700人で日本人は私を含め二人と言うスタイルで工作中(本社とのやり取り以外)、仕事後共殆ど日本語を使う機会はありません。(私の愚妻もこちらの人間です)そのためかインターネットでは日本語のものを見る方が多いですね。

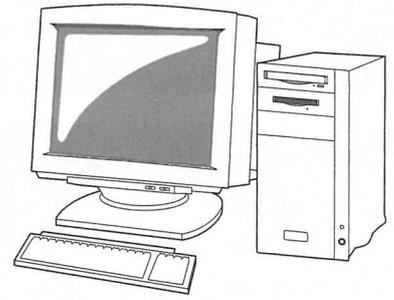
ここセブは日本からも沢山の観光客が来ています。人は一言で言えばフレンドリーで優しいですね。仕事の面でも結構なハードワーカーが沢山います。

又ここはアメリカの影響の強い国でこれは仕事の面でも強く現れているのですが、それでいてアジア人らしさというか、日本人と共通するようなメンタリティ

も持っていたりして面白いものがあります。

気候は年中エアコンが必要で三月から五月が夏となり日光浴が好きな私でも耐えられない日の強さとなりますが海が近いせいかあまり不快感は有りません。

日本へは通常年2回の一時帰国をしていますが、なんか日本へ帰るとい感じはもうすっかりなくなってしまい、反面日本へ観光へ行くと行った感じが年々強まってきています。又、井草あたりの(谷原の自宅近辺もそうですが)地理もかなり忘れていたり、常識的な事が分からなくなっていたりして時々両親や友人に尋ねなければいけない場面もあります。しかし反面こちらにいと日本の新聞は良く読む様になり、新聞に出ているような事は日本に居る人よりも詳しく知っているなんて言うようなこともありますが。



井草での3年間

加藤 史 (平成10年卒 高校50回H組)

僕にとって井草高校の3年間は、『僕』をほぼ180度変えてくれた素晴らしい時間だった。

入学当初の僕は趣味の幅も狭く、それだけにのめりこんでいる「マニア」とか「オタク」とか呼ばれるような生活をしていた。しかし、体育祭、文化祭、などの学校生活をクラスメイトとともにすごしていると、

だんだんと限られたことにしか興味を持っていないのがとてももったいなくなってきた。これは、クラスメイトから指摘されたわけでもないし、先生が授業で言っていたわけでもない、井草高校での一見平凡な生活がそれを教えてくれたのだ。体育祭では団結し競技に取り組む楽しさを学んだし、文化祭では団結することはもちろん、自分の知らなかったことに挑戦する楽しさも学んだ。

この3年間、勉強に関してはお世辞にもがんばったとはいえなかったが、僕の視野を広げ、前よりも社会的にしてくれたとても重要な時間であったことには間違いがないだろうと思っている。

住所不明者

次の方の住所が不明です。ご存知の方は、井草会までご連絡下さい。(敬称略。()内は旧姓) *住所変更をされた方は必ず井草会にご連絡下さい。

高校27回生 (昭和50年3月卒業)

A組(担任:荒田政和先生)

上田一郎、黒崎 勲、真下和之、武藤祐生、吉沢光人、吉田光男、新井(上田)智子、春田(鎌田)真理子、小沢(君島)尚子、木村春美、本多(高橋)郁子、尾坂(中川)利恵子、富田(牧口)裕美、松本(脇本)恭子

B組(担任:久我平吉先生)

安西 浩、杉山誠紀、広田宣啓、深嶋栄治、山岸陽一、石川博美、太田(宇都宮)美紀、大高直子、桑田智美、押山(小関)直美、長谷川(小宮)道子、中野宏子、藤本淑子、森山喜美子、八代素子、吉永美智子

C組(担任:福島美恵子先生)

安藤晴基、井股 哲、後藤 隆、須貝一明、福島寛、増田 稔、松宮利明、天利芳恵、笛田(江村)

朋子、飯高(小野)悦子、坂本奈嘉子、佐藤真理、高橋貴代子、藤井牧子、山本(守田)淳子

D組(担任:鎌田敏雄先生)

小椋 実、高橋清孝、伊賀(伊藤)朝子、岩沢(高田)りま

E組(担任:平井英一先生)

海老沢 功、川西重人、佐藤正之、菅 正博、西谷則彦、西野 誠、藤本弘之、松本邦夫、三浦庸一、山崎 玄、去来川祥子、加代子(岩内)GILLO T、斉藤(宇賀神)恵、久保田尚子、佐々木(鈴木)道子、岩岡(渕)ゆりか、谷口(村上)佳子

F組(担任:若林 覚先生)

阿部 宏、垣内祥宏、佐藤 宏、武部桂史、山岸重雄、渡辺雅幸、蕪木(大石)真由美、難波(小林)美喜子、阪井容子、富田(田中)淑恵、山口(原田)美代子、中西(益永)淳子、今井(山田)珠路、中村(渡辺)佳津子、岡田(渡辺)玲子

G組(担任:森脇直人先生)

雨宮正典、石森信照、金子 均、笹瀬 巖、鮫島徹、野口英樹、野田康宏、藤井和美、恵 和良、大和田(川島)恵美子、喜多容子、戸辺(島田)文恵、草下(高野)香、丹野順子、半田(最上)美智子

H組(担任:水野正良先生)

新井 篤、土方直行、藤井登哲、松田栄之、柳瀬英男、新井(赤池)佐代子、伊藤(岸)ゆう子、金子(田村)卓子、中嶋(樋口)由紀子

I組(担任:浜道 彰先生)

伊藤明朝、川村 智、斉藤 浩、高木信治、早川禮生、福田邦夫、前原邦彦、榎 哲夫、室田和哉、森本喜一、吉田健城、植草厚子、上田順子、生越(辛島)美奈、佐藤(高崎)千恵子、田原(鳥木)靖子、板尾(細島)みはる、織井(前住)朝子

同期会・クラス会

()内はお招きした先生です



高女1回 平成9年6月7日 “古稀祝” 横浜萬珍樓にて (青山先生夫妻)



高校4回 平成9年5月22日 椿山荘にて



高女4期・高校1回 平成9年5月25日 新宿パステル亭
(青山・小沢・辻先生)



▲DEF組



▲A組

高校10回 平成9年10月25日 渋谷BOSSにて

※A組から声をかけ、D、E、F組も参加しました。



高校6回同期会 平成9年11月24日 日本閣にて (先生8名)



高校45回B組 平成9年7月2日 新宿武蔵野館前にて



高校41回C組 平成9年9月27日 京王プラザホテルにて
(矢沢・小坂先生)



高校14回B組 平成9年10月25日 あさひ銀行
「青山尚友館」にて (齊藤瑞子先生)



高校5回E組 平成9年10月4日 新宿第一生命ビル
エスカイヤクラブにて (大隅先生)



高校36回C組 平成9年6月14日 新宿にて (杉野先生)



高校8回C組 平成10年4月12日 箱根「天成園」にて
還暦旅行



高校8回 平成10年2月7日 小田急清月堂にて (福島先生)

寄付者名簿

(平成10年3月31日現在)

次の方々より井草会へご寄付をいただきました。ありがとうございました。
尚、敬称は略させていただきます。(1口：1,000円)

■高女1回生■	見喜 武之 7口	臨光 哲也 1口	川勝 文雄 3口	■高校30回生■
末永 京子 10口	中嶋 厚子 3口	■高校12回生■	■高校20回生■	高橋三智子 3口
柳沢 敦子 3口	■高校7回生■	鈴木 節子 1口	渡辺 信行 3口	■高校31回生■
斎藤 寛子 5口	関 信夫 3口	山崎三千代 1口	宮下由記子 3口	阿部 恵 1口
■高女2回生■	国友 栄 1口	細谷 春来 3口	大島 道雄 3口	井上佳代子 2口
富樫久美子 2口	長谷 朋子 3口	八百 洋子 1口	村田 直樹 3口	川部 崇 3口
泉 寿ぎ 3口	野下 幸代 3口	中村 福子 5口	渡辺 一雄 3口	■高校34回生■
大泉 和枝 8口	渡辺きさ子 3口	■高校13回生■	田中 英明 3口	脇田 朋子 1口
■高女4回生■	山口 常 3口	須賀 雅博 1口	■高校21回生■	中西 正典 1口
阿部 妙子 10口	山口 淳子 3口	■高校14回生■	加藤 澄夫 1口	高野 郁人 1口
関 美奈子 5口	■高校8回生■	杉浦 則子 3口	町田 康男 3口	■高校36回生■
高村 京子 3口	矢口恵美子 1口	松本 洋子 3口	■高校22回生■	保坂 千鶴 2口
小山いづみ 3口	植村紫津子 1口	小島 慶子 1口	中村まさ子 2口	■高校37回生■
■高女5回生■	瀬尾 行弘 3口	斎藤 靖子 2口	二宮美恵子 2口	土屋 貴弘 2口
山本 信子 3口	小林 恒雄 2口	■高校15回生■	近藤小百合 3口	増尾 裕子 1口
大熊 滝子 2口	■高校9回生■	田中 希史 4口	平田 英二 3口	井上 健介 1口
■高校2回生■	杉浦 章子 3口	今井千恵子 3口	■高校23回生■	■高校44回生■
渡辺 旭 10口	山口 直子 3口	川添 洋子 3口	原島 幸子 4口	石川 貴博 4口
■高校3回生■	渡辺 正義 10口	小野美智子 2口	■高校24回生■	小林 明子 1口
大友 朝子 3口	木村 忠正 8口	小野 節子 3口	井上 晴夫 6口	■高校45回生■
八重樫恵子 3口	渡辺 節子 3口	■高校16回生■	■高校26回生■	松尾 綾 1口
内田 陽子 10口	野口 享子 3口	丹羽 一洋 1口	牧山 好子 3口	■高校46回生■
■高校5回生■	■高校10回生■	■高校18回生■	杉野 俊哉 1口	古市 明子 1口
当麻 保 2口	鈴木喜久信 3口	大西 峰子 1口	三上 祥子 3口	■高校49回生■
清水 和美 2口	関口 素子 1口	二ノ宮きよ子 3口	別所 嘉彦 3口	松岡 純 2口
佐藤美恵子 3口	加藤 則雄 3口	■高校19回生■	■高校27回生■	
■高校6回生■	黒田 俊宏 8口	沓内 実 3口	山口千鶴子 1口	
早船 聖生 3口	■高校11回生■	渥美 好子 3口	■高校29回生■	
前波 進 3口	清水 宏之 3口	猪股 正幸 2口	宇根 達也 1口	

井草会と関係ありません

毎日新聞などの一般紙で、時折〇〇高校特集として母校の様子や恩師の近況などと共に卒業生からの広告を載せておりますが、井草会には関係ありません。2年後に発行を予定している「井草会名簿」の広告募集の際には会報でお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

編集後記

ホームページを開設した結果、ペンと紙よりキーボードの方が現代にマッチしたのか、井草会への一言がたくさん入ってきます。

その中からも会報に掲載させていただきました。長文については適当にカットしましたので悪しからず。

7月中旬井草高の校門わきの小さな池で、カルガモの赤ちゃんが10羽孵化し、親のあとを追って泳いでいました。職員の方々がエサをやったり、カラスや猫から守るため網を立てたりと皆でやさしく見守っていらっしゃいました。